

【実践発表動画の内容】 放映時間は、いずれの動画も約 20 分です。

<令和7年度フォーラム>

【課題1】 地域と協働して魅力ある授業をつくる

【課題2】 地域と協働して学校課題の解決に挑む

講評動画 講師：文部科学省CSマイスター 福田範史氏

放映時間：約 17 分

R7-1 地域と協働で取り組むカリキュラムづくり(福山市立幸千中学校区)

学校間連携、地域との連携による教育課程の充実が図られています。地域と学校をつなぐキーパーソン(交流館長等)や3校の連携によるカリキュラムづくりについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域との協働に向けて、つながりをどのようにするか〔学校と地域の連携〕
- ・ 既存の取組の見直しをどのように行うか〔評価・改善〕

R7-2 学校の課題⇔地域の課題～地域とともに課題に挑む～(廿日市市立津田小学校)

学校と地域が課題等を共有しながら連携・協働し、体験学習やイベントを実施。学びの充実、教職員の負担軽減や地域交流による活気創出など、WIN-WINの関係を築き上げていくために必要な学校と地域が連携・協働の視点を学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 地域と学校がWIN-WINになるために必要なことは〔支援・協力から協働へ、仕組みづくり〕
- ・ 自分たちの学校・地域の特色(強み)は何か〔地域資源の活用〕
- ・ 教育活動と地域の活動をいかにつなげていくか〔社会に開かれた教育課程の実現に向けて〕

【課題3】 地域学校協働活動の充実・魅力化

講評動画 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ氏

放映時間：約 6 分

R7-3 地域と学校のつながりで育むこどもの学び(廿日市市立宮内小学校区地域学校協働本部)

地域学校協働活動推進員のコーディネートのもと、学校と地域の関係団体がつながり、特色のある地域学校協働活動が展開されています。学校運営協議会で運動会や授業のことについて協議し、地域学校協働本部と連携して実施するなど、一体的推進の姿を学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 地域と学校の協働体制をどのように構築するか〔コーディネーターの役割〕
- ・ 幅広く継続的な支援を確保していくためには〔関係団体等とのネットワークづくり〕
- ・ 魅力ある地域学校協働活動にするためには〔学校を核とした地域づくり〕

【課題4】 テーマ型コミュニティ・スクールで子供の学びをつくる

講評動画 講師：文部科学省CSマイスター 大門和喜氏

放映時間：各5分程度

R7-4 学校×地域×テーマで加速する学びと広がるネットワーク(安古市高等学校)

学校運営協議会の委員が、それぞれに役割を担って、探究活動の充実をはじめとした教育課程内外の多様な教育活動に関与しながら、協働的に生徒の資質能力の育成を目指しています。学校の課題や強みをテーマとして、学校運営協議会を中心としたネットワークを構築することで生徒の学びを拡げ深める姿を学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 学校の課題や強み〔協働するテーマの共有〕
- ・ 教育活動に地域（つながる先）の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域が連携して教育課程を編成するには〔カリキュラム・マネジメントへの参画〕

R7-5 地域資源を効果的に活用した特色のある教育の創造

～学校運営協議会委員・教員参画のグループ協議を活かして～(福山北特別支援学校)

学校運営協議会委員と教職員で育てたい子供像を共有し、地域資源を活用した教育課程の創造に取り組まれています。地域と連携・協働した学びを通して、児童生徒の自立と社会参加や地域の課題解決につながる実践について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 学校と地域が連携して教育課程を編成するには〔育てたい子供像の共有・教育課程の創造〕
- ・ 地域と学校が”協働”するとは〔支援・協力から協働へ〕
- ・ 地域における児童生徒の学びの意義とは〔共生社会づくり〕

<令和6年度フォーラム>

実践発表のポイント紹介動画 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ氏

放映時間：5分

R6-1 子供の学びの充実を目指した地域と学校の協働の在り方(府中市立国府小学校)

地域・家庭・学校で、子供の笑顔と学びを支える協働体が構築されており、ベクトルをそろえて子供に育成したい資質・能力を培われています。大人によるお膳立てしない関わりや、こどもCS委員会による地域づくりへの参画の視点を学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域とのつながりをどのように作るか〔学校と地域の連携〕

R6-2 子供・学校・地域が元気になる“仕組み”づくり（尾道市立瀬戸田小学校・尾道市立瀬戸田中学校）

地域の強みを活かした教育活動を通じて、児童生徒が地域の魅力や価値に気付き、郷土を愛する心を育んでいく学習が展開されています。子供の学びをより豊かにするための地域連携コーディネーターの関わり方について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ 自分たちの学校・地域の特色（強み）は何か〔地域資源の活用〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域とのつながりをどのようにつくるか〔学校と地域の連携〕

R6-3 探究の学びを支える学校運営協議会の取組～都市部から挑戦する地域学校協働～（広島井口高等学校）

学校の特色を通してつながるテーマ型コミュニティの構築を目指されています。探究活動の充実を目指す都市型普通科大規模校と学校運営協議会が対等なパートナーとして生徒の探究を推進しようとしている姿を学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな生徒を育てたいか〔育てたい生徒像の共有〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域が連携して教育課程を編成するには〔カリキュラム・マネジメントへの参画〕

R6-4 地域とともに歩む学校づくり～学校運営協議会はわれらのパートナー～（広島特別支援学校）

「学校運営協議会は学校にとって大切なパートナーである」と捉え、委員と育てたい児童生徒像を共有し、様々な教育活動を展開されています。地域と協働して児童生徒の学びをつくっていくことが児童生徒の学びを深め、自信も育んでいる取組について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい児童生徒像の共有〕
- ・ 地域と学校が”協働”するとは〔支援・協力から協働へ〕
- ・ 地域における児童生徒の学びの意義とは〔共生社会づくり〕

R6-5 地域（公民館）の立場を生かした学校運営協議会2年目へのアプローチ（尾道市河内公民館）

発表者は、学校運営協議会委員として、地域の子供は学校を含めた地域で育てるという思いで学校運営に参画されているだけでなく、公民館長として、地域総ぐるみで子供を育てていく地域づくりをされています。「学校を核とした地域づくり」の取組について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 地域と学校が”協働”するとは〔支援・協力から協働へ〕
- ・ 幅広く継続的な支援を確保していくためには〔関係団体等とのネットワークづくり〕
- ・ ”大人の学び”・”子供の学び”とは〔学校と地域の連携・協働〕

<令和5年度フォーラム>

講評動画 講師：国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ氏

放映時間：10分

R5-1 学校運営協議会導入期における取組（熊野町立熊野第三小学校）

コミュニティ・スクールの導入を計画している、あるいは導入しているが取組が思うように進まない等、導入期に直面する課題を解決していくための熟議の必要性とコーディネーターの役割の重要性について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔地域・学校課題の解決〕
- ・ 学校と地域とのつながりをどのようにつくるか〔学校と地域の連携〕

R5-2 教育課程の質的向上に向けた取組（府中町立府中中央小学校）

学校の教育課程に地域が参画していくための段階的な取組や、中学校区における学校と地域との関わりを活性化していく工夫について学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 地域と学校が“協働”するとは〔支援・協力から協働へ〕
- ・ 教育活動に地域の力をどう生かすか〔カリキュラム・マネジメントへの参画〕
- ・ 幅広く継続的な支援を確保していくためには〔関係団体等とのネットワークづくり〕

R5-3 「社会に開かれた教育課程」でつなぐ中学校区の実践（三次市立三次中学校）

キャリア教育を基軸として、育てたい資質・能力を共有した学校と地域との双方向の学びづくりの取組や、中学校区で取り組むコミュニティ・スクールの仕組みを活用したカリキュラムづくりについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな子供を育てたいか〔育てたい子供像の共有〕
- ・ “大人の学び”・“子供の学び”とは〔学校と地域の協働〕
- ・ 幅広く継続的な支援を確保していくためには〔関係団体等とのネットワークづくり〕

R5-4 学校のカリキュラムと地域等の連携・協働の実践（日彰館高等学校）

地域の高等学校として地域を支える人材を育成するために、学校と地域で協働した教育課程を編成しています。コミュニティ・スクールの仕組みを活用した協働体制の構築のポイントについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ どんな生徒を育てたいか〔育てたい生徒像の共有〕
- ・ 学校・地域それぞれの役割とは〔学校・地域が担うべき役割〕
- ・ 学校と地域が連携して教育課程を編成するには〔カリキュラム・マネジメントへの参画〕

R5-5 学校運営協議会を通して実現した地域協働・社会貢献活動の実践（庄原特別支援学校）

共生社会の形成、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、児童生徒の学びが社会と効果的につながるための学校運営協議会の役割、教職員と学校運営協議会委員が協働した学びづくりについて学ぶことができます。

【動画視聴後の協議テーマの例】

- ・ 教職員が参画しやすい学校運営協議会とは〔学校運営協議会の活性化〕
- ・ 学校の教育活動に活かしたい地域の教育力とは〔地域資源の活用〕
- ・ 地域における児童生徒の学びの意義とは〔共生社会づくり〕

【制度の概要等が学べる動画】NITS（独立行政法人教職員支援機構）研修動画

※講師の所属・職名は撮影当時のものです。

- 「『地域に開かれた学校』から『地域とともにある学校』へ」：校内研修シリーズ No. 24
(講師：文部科学省初等中等教育局 参事官 木村直人氏)

なぜ学校と地域との「連携・協働」が必要なのか、その背景や現状の課題、目指すべき連携・協働の姿について説明しています。そして、「社会に開かれた教育課程」の実現とコミュニティ・スクールとの関係や、地域とともにある学校の運営において大切な視点「熟議・協働・マネジメント」を解説しています。

- 「地域とともにある学校づくり」：校内研修シリーズ No. 136
(講師：国立教育政策研究所 総括研究官 志々田まなみ氏)

「コミュニティ・スクールの必要性」「地域学校協働活動とは」「地域とともにある学校づくりの進め方」の3点について、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施することに注目し、具体例を交えながら解説をしています。